

令和6年度 一般会計決算附属資料

商工観光部 主要な施策の成果

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 労働諸費	7,606千円	7,638千円	32千円	99.5 %		
	目	01 労働諸費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 人材確保・就職促進対策事業				8,387千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興					府補	移住支援補助金 (3/4)	
目的	京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保等事業経費の一部を負担し市内事業所の人材確保を支援するとともに、資格取得を目指す求職者等の支援や職業訓練事業実施団体の運営・訓練費を補助し、就職促進と雇用の安定化を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○京丹後市地域雇用促進協議会負担金		3,746千円	○移住支援事業補助金		600千円		
	雇用促進協議会 総事業費： 4,727千円 ◆雇用促進事業、人材育成事業、研修事業 3,375千円 ・きょうたんご就職フェア (参加者65人、参加企業40社) ・きょうたんご医療のしごと・福祉のしごと合同説明会 (参加者3人、参加企業12社) ◆広報事業等 989千円 ・企業ガイドブック作成 (掲載企業55社、3,000部発行) ◆企業魅力向上事業 (若者雇用機会創出事業) 363千円 ・採用力強化セミナー (1回開催、参加企業4社)			・交付件数：1件 (単身世帯) ○職員旅費・有料道路通行料等 33千円				
○丹後地域職業訓練協会運営費補助金		2,815千円						
・職業訓練講座：22講座26コース実施 (R5：23講座26コース) ・受講者：延べ228人 (市内163人) (R5：延べ254人、市内162人)								
○職業能力向上支援補助金		412千円	成果・課題		○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、市内での就職フェアや、医療・福祉業界に限定した合同企業説明会を開催したほか、企業の採用力の強化等を行った。 ○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行うことで、労働者や求職者のスキルアップを支援した。 ○引き続き、地元就職希望者やU・Iターン希望者と企業とのマッチングを図り、人材確保や就労を促進するため、地域雇用促進協議会の取組を支援する必要がある。			
・交付件数：73件 (交付者数：51人) ・補助率：研修受講料の2分の1以内 (上限額：年間2万円/人)								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							3,917千円	3,927千円	10千円	99.7%
	目	01 商工総務費										(参考)当初予算額
	事業	50 商工総務一般経費										5,028千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		諸収入 市有自動車損害共済金 97千円									
目的	商工行政を推進するために必要な一般経費及び公用車の維持管理費		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（育休代替、1人） 任用期間：令和6年4月～令和6年9月（6か月）		1,817千円		成果・課題 公用車のメンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。							
	○旅費 ・近畿経済産業局派遣職員研修旅費		108千円									
	○消耗品費等（事務用品等）		229千円									
	○公用車管理費（商工観光部管理台数：8台）		1,763千円									
	・燃料費		793千円									
	・修繕料		744千円									
	・手数料（自動車登録手数料等）		99千円									
	・自賠責保険料		88千円									
・テレビ受信料		11千円										
・自動車重量税		28千円										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							76,041千円	76,041千円	0千円	100.0%
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	01 商工会助成事業										78,000千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		府補	きょうと地域連携交付金（商工業等積極展開支援事業）			37,000千円					
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等小規模生産基盤整備事業、地域産業活性化のためのイベント開催や商店街の環境整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業費補助金 66,041千円 経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援 ・経営改善普及指導事業分 61,720千円 経営改善普及事業指導職員による小規模事業者への経営指導・相談事業 ・地域総合振興事業分 4,321千円 市場開拓、機械金属販路開拓、小売商業振興等 ○織物指導等小規模生産基盤整備事業補助金 8,000千円 丹後の織物技術を維持し製品の品質確保を図るため、延べ1,289件の織物技術指導と54件の小規模な生産基盤整備を支援				○地域活性化事業補助金 2,000千円 地域の活性化イベントである「京丹後商工祭」の開催を支援 【総事業費】6,062千円（補助対象経費：4,445千円） 【開催期間】令和6年10月20日（日） 【開催場所】丹後王国「食のみやこ」 【事業内容】 ・出展ブース数 55ブース（市内事業者、部会催事等） ・来場者数 約5,500人 ・ステージイベント、部会による催事等 ・丹後ちりめんロール大試食会（参加者315人）、アンケート調査実施 ・その他 京丹後デジタルポイントを全店舗で取り扱い							
	成果・課題	○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。 ○生産性向上や資金繰り対策など、経営環境の変化に対応するため、事業者に寄り添った支援を行う商工会の役割は重要であり、引き続き支援が必要である。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 43,659千円	最終予算額 43,659千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				100.0%		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事業	02 丹後地域地場産業振興センター運営支援事業				39,579千円		課 商工振興課
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設の管理、丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、情報の収集及び発信など地場産業の振興を図る各種事業を支援し、本市地場産業の総合的な振興を図る。							
主要な事務・事業の概要	○丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 39,579千円 【主な実施事業】 ◆新商品・新技術開発事業 高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業 (延べ利用回数 128回、実利用事業者数 13事業者) ◆人材育成事業 食品品質向上セミナーの開催 全2回(延べ参加数:48事業者57人) ◆需要開拓事業 ・Tango Good Goods認定及び販売促進事業 令和6年度認定数:30事業者、53商品 ・「Tango Good Goods見本市」の開催 10月12日~13日 野田川わーくばる 来場者数3,400人、出展社数23社、商談件数13件 ・他地域の物産展、イベント等への出店 丹後のええもんうまいもん展・合同産直市(大阪府吹田市)等に57回 出展し、延べ113事業者が参加		◆地場産品展示普及支援事業 地場産品の常設展示販売及びECサイト、ふるさと納税サイトでの販売 (189事業者、約3,000品目、年間売上約74,650千円) ◆誘客販売事業 ・野村克也ベースボールギャラリーの運営事業 ・たんご朝市の開催(毎週日曜日) ・アミティ感謝祭 (4月28日開催:来場者約400人、11月3日開催:来場者約300人)		○丹後地域地場産業振興センター大規模改修補助金 4,080千円 ・正面自動扉改修工事			
			成果・課題	○セミナー等を支援することで、事業者が抱える販路拡大等の課題解決に向けた取組ができた。 ○地場産品のブランド化を支援することで地域の特産品を創出することができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を定め、計画的な施設修繕を支援していく必要がある。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																							
	項	01 商工費							31,193千円	31,195千円	2千円	99.9%																			
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額																			
	事業	03 金融支援事業										64,500千円																			
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	8,000千円																									
目的	市内商工業者の運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,308千円																									
主要な事務・事業の概要	○信用保証料補助金		12,137千円		○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金		8,679千円																								
	<p>京都府中小企業融資制度又は京丹後市商工業振興融資制度を利用して借入れる際に支払った保証料を1事業者40万円を限度に交付 ※「伴走支援型経営改善おうえん資金」の借入の場合は別枠で補助率100%、1事業者当たり40万円を上限に交付 ※「伴走支援型経営改善おうえん資金」は令和6年6月末で取扱いが終了</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>建設業</th> <th>製造業</th> <th>卸売・小売業</th> <th>飲食店 宿泊業</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>11</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>交付額(千円)</td> <td>1,177</td> <td>2,092</td> <td>3,367</td> <td>2,499</td> <td>3,002</td> <td>12,137</td> </tr> </tbody> </table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計	件数(件)	11	24	25	23	28	111	交付額(千円)	1,177	2,092	3,367	2,499	3,002	12,137	<p>市内商工業者が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関の制度融資(令和2年1月29日以降の借入)に係る利子に対し、初回利子支払い月から36月目までは借入利率の0.46%分を、37月目からは借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付</p> <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>208件</td> </tr> </table>				交付件数	208件
	業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計																								
件数(件)	11	24	25	23	28	111																									
交付額(千円)	1,177	2,092	3,367	2,499	3,002	12,137																									
交付件数	208件																														
○経営力向上企業支援利子補給金				70千円		○無利子・無担保融資対応利子補給金		10,307千円																							
<p>市内商工業者が経営力向上計画の認定を受け、市内民間金融機関又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付</p> <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>7件</td> </tr> </table>				交付件数	7件	<p>市内商工業者が活用した京都府及び政府系金融機関の制度融資について、無利子期間(国による利子補給期間)が終了した後の利子に対し、初回利子支払い月から36月目までの借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付</p> <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>368件</td> </tr> </table>				交付件数	368件																				
交付件数	7件																														
交付件数	368件																														
成果・課題				<p>○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、事業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○国による利子補給期間が終了する事業者が増加傾向にあり、無利子・無担保融資対応利子補給金にて、有利子による返済が開始する事業者の支援ができた。 ○国際情勢の影響等により地域中小企業を取り巻く状況は厳しく、引き続き信用保証料補助や利子補給を実施する必要がある。</p>																											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																			
	項	01 商工費							33,761千円	33,820千円	59千円	99.8 %															
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額															
	事業	04 商工業支援事業										19,150千円	課	商工振興課													
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		9,159千円																				
目的	新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、SDGsの取組、企業連携による開発、織物業や機械金属等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内事業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（商工業等積極展開支援事業）		800千円																				
				府補	地域商業活性化事業費補助金（1/3）		451千円																				
主要な事務・事業の概要	○事業者×跡継ぎマッチング事業		550千円	○商工業支援補助金		1,967千円																					
	商工会、京都産業21と連携し、市内の事業継承ニーズを掘り起こすとともに、継業人材の募集及びマッチングを実施 ・クラウドサービス利用料 550千円 【継業バンク内訳】（令和7年3月末現在）			中小企業等が行う販路開拓などの取組を支援																							
	<table border="1"> <tr> <td>掲載事業者数</td> <td>5件（内3者継業中）</td> </tr> <tr> <td>問い合わせ</td> <td>23件</td> </tr> </table>		掲載事業者数	5件（内3者継業中）	問い合わせ	23件		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）</td> <td>3件</td> <td>642千円</td> </tr> <tr> <td>ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）</td> <td>6件</td> <td>766千円</td> </tr> <tr> <td>知的財産権取得支援事業</td> <td>4件</td> <td>359千円</td> </tr> <tr> <td>事業承継支援事業</td> <td>1件</td> <td>200千円</td> </tr> </tbody> </table>		事業	件数	交付額	ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）	3件	642千円	ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）	6件	766千円	知的財産権取得支援事業	4件	359千円	事業承継支援事業	1件	200千円			
	掲載事業者数	5件（内3者継業中）																									
問い合わせ	23件																										
事業	件数	交付額																									
ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）	3件	642千円																									
ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）	6件	766千円																									
知的財産権取得支援事業	4件	359千円																									
事業承継支援事業	1件	200千円																									
○製造・加工業経営革新等推進事業補助金		30,342千円	○地域商業活性化事業		902千円																						
織物業及び機械金属業等の製造・加工事業者が行う生産設備の新增設や更新等、経営力向上のための設備投資に対し補助			金刀比羅商店街の老朽化した街路灯の改修																								
<table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>織物業</td> <td>27件</td> <td>14,301千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械金属業等</td> <td>5件</td> <td>16,041千円</td> </tr> </table>		内訳	織物業	27件	14,301千円		機械金属業等	5件	16,041千円		○継業バンクにおける跡継ぎマッチングでは、3者が継業に向け準備を進めている。マッチング支援について今後も京都府、市商工会等関係機関との連携が必要。 ○経営力向上計画に基づく設備投資に補助することで単なる設備更新でなく、中長期的な経営改善や持続的成長に資する設備投資に対する支援ができた。 ○商工業支援補助金にて市内事業者の新たな挑戦や取組を支援することで、地域経済の活性化に資することができた。			成果・課題													
内訳	織物業	27件	14,301千円																								
	機械金属業等	5件	16,041千円																								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							18,747千円	18,763千円	16千円	99.9%		
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額		
	事業	05 地域経済循環促進事業										4,022千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)		4,018千円								
目的	市内登録店舗で利用できる買物デジタルポイントの運用を支援することにより、地域内での経済循環を高めるとともに、本システムを活用して本市のキャッシュレス化を促進する。			国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		9,159千円							
主要な事務・事業の概要	○消耗品費		424千円	○消費喚起ポイント事業補助金(プレミアム付デジタル商品券)		9,813千円								
	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカード等購入 			<ul style="list-style-type: none"> ◆プレミアム付デジタル商品券プレミアム分 9,278千円 ◆事務費(消耗品費、印刷製本費、新聞折込手数料) 535千円 										
○京丹後デジタルポイント運営事業補助金		3,582千円	【内容】		<ul style="list-style-type: none"> 5,000円で6,000円分の利用ができるデジタル商品券 購入上限：1会員番号につき上限5セット発行(令和7年1月29日より上限を2セットから5セットに拡充) 販売総数：40,000セット 利用及び販売期間：令和6年12月1日から令和7年3月16日 									
京丹後デジタルポイント運営協議会が実施する事業に係る費用を補助			【実績】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>販売実績</th> <th>利用実績</th> <th>商品券発行額</th> <th>商品券利用額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,301セット</td> <td>9,278セット</td> <td>55,806千円</td> <td>55,229千円</td> </tr> </tbody> </table>		販売実績	利用実績	商品券発行額	商品券利用額	9,301セット	9,278セット	55,806千円	55,229千円
販売実績	利用実績	商品券発行額	商品券利用額											
9,301セット	9,278セット	55,806千円	55,229千円											
◆協議会総事業費		7,723千円	○京丹後デジタルポイントシステム改修費用		4,928千円									
<ul style="list-style-type: none"> システム保守運用経費 1,575千円(アプリサーバー年間利用料 月額880円×1,790月分) 事務局運営費(人件費・車両借上料・広報費等) 3,351千円 ポイント発行費用 2,797千円 			クレジットカードからチャージができるように(アプリのみ)システム改修を行った。											
※加盟店舗数：151店舗(令和7年3月31日現在)			<ul style="list-style-type: none"> クレジットカードチャージ対応 4,455千円 プレミアム付デジタル商品券発行対応 473千円 		成果・課題									
			○プレミアム付商品券事業を契機に加盟店が増加した。		○アプリにてクレジットカードからのチャージ機能を追加したことにより、キャッシュレスの促進を図ることができた。									
			○利便性向上に向け、引き続き加盟店を増加させる必要がある。											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 13,461千円	最終予算額 14,026千円	不用額 565千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				95.9 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	06 自然あふれるビジネスモデル推進事業				13,221千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		府補 きょうと地域連携交付金（テレワーク推進事業）			課 商工振興課	200千円
目的	テレワーク推進戦略に基づき、市内事業者で構成するコンソーシアムを中心に持続可能なビジネスモデルの構築を目指した事業推進やテレワーク環境の整備等を支援することにより、都市部企業・人材の誘致や、交流人口・関係人口の拡大を図り、将来的な定住人口の増加を目指す。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○テレワーク戦略実践会議 9千円 自然あふれるビジネスモデル事業の検証と進捗管理のため、商工関連団体、観光関連団体等で構成する委員会を2回開催 ・委員謝金、費用弁償（1人） 9千円			○ふるさとテレワーク推進事業補助金 465千円 サテライトオフィスの運営に係るオフィス等の賃借料、光熱水費、通信回線使用料、等に要する経費に対して補助金を交付 ・サテライトオフィス運営事業 交付件数：2件、補助率：1/2以内、上限40千円/月			
	○コーディネート業務委託料 10,487千円 （契約期間：令和3年9月1日～令和8年3月31日） ワークেশョン、企業向け研修プログラムの企画運営、都市部プロモーション業務及び企業・人材等の誘致活動、コンソーシアム運営業務等 ◆テレワーク、ワークেশョンプログラムの開発・実施 1プログラム造成、参加社3社、参加人数16人 ◆企業研修プログラムの開発・実施 4プログラム造成、参加社5社、参加人数155人 ◆プロモーション活動 都市部企業へ向けたサテライトオフィス誘致の可能性を高めるため、イベント等の開催やマッチングイベントへ参加。加えて、コンソーシアムメンバーへのヒアリングを実施			○サテライトオフィス誘致業務委託料 2,500千円 （契約期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日） 都市部企業・人材、ベンチャー企業等をターゲットに本市へのサテライトオフィス誘致活動、新たな産業の創造や多様な就業機会の確保等 ・サテライトオフィス設置実績数 13社			
				成果・課題	○これまでの成果も重なって、着実に都市部企業や人材が本市に関わる仕組みが出来つつあり、新たな人流のきっかけをつくることのできた。 ○能動的なプロモーション活動によりサテライトオフィスとして13社の誘致に成功した。 ○課題はこれまでの成果を継続させ、自走化できる体制の構築であり、都市部へのプロモーション活動を維持しつつ、コンソーシアムをベースとした新体制の組織化に向けた取組みを重視し、再構築する必要がある。		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							9,357千円	9,357千円	0千円	100.0 %
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	08 機械金属業振興事業										9,740千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	デンジ 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)			4,679千円					
目的	機械金属関連事業者の販路開拓、新分野のビジネス展開など、丹後機械工業協同組合の活動を支援するとともに、資材高騰の影響を受け厳しい経営状況を強いられている市内機械金属事業者の活動を支援することで、基幹産業である機械金属業界全体の成長・発展を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金 【実施主体】丹後機械工業協同組合 【補助率】 2/3以内 【実施内容】 ◆新分野・ビジネス開拓推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・機械技術要素展（東京・6月） 6社出展 ・第27回機械技術要素展（大阪・10月） 13社出展 ・メッセナゴヤ2024（名古屋・10月） 3社出展 ・機械技術要素展（福岡・12月） 7社出展 ・京都ビジネス交流フェア2025（京都・2月） 11社出展 		9,357千円									
				成果・課題	○展示会への出展を支援することにより、産地ブランドのPR及び本市機械金属産業の事業分野の拡大を図ることができた。 ○国内の製造業の中でも、近年活況を呈している九州の展示会に出展したことで、新たな販路開拓ができた。 ○更なる業界の成長・発展を図るため、新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 5,675千円	最終予算額 5,675千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				100.0 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	09 人材育成事業				6,000千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源				
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」（北部産業活性化拠点・京丹後）の管理に必要な経費の一部を負担することにより、適切な施設運営を促す。						
主要な事務・事業の概要	○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営事業 ・施設等管理運営負担金		5,675千円				
	成果・課題	○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営に寄与した。 ○市内産業の活性化を図るため、引き続き「丹後・知恵のものづくりパーク」を維持する必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 6,233千円	最終予算額 6,246千円	不用額 13千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				99.7%		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事業	12 大阪・関西万博連携事業				3,020千円		課 商工振興課
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	デザイン 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)		1,500千円		
			府補	きょうと地域連携交付金 (大阪・関西万博連携事業)		1,500千円		
目的	2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現とSDGsの達成の趣旨に賛同し、ものづくりや豊かな自然環境を活かした本市ならではの万博への参画に向け取組を進める。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○京丹後市大阪・関西万博推進協議会の開催		273千円	○地域一体型オープンファクトリーイベント実施業務				3,000千円
	<p>本市の強みである健康長寿、自然、歴史、文化、産業等の資源を大阪・関西万博を契機に見つめ直し、発展に繋げるロードマップを策定。その後、進捗管理やアドバイスなど、取組を推進するため民間主導の協議会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー謝金 (延べ9人・会議数3回) 126千円 ・委員謝金 (延べ34人・会議数3回) 130千円 ・アドバイザー、委員費用弁償 17千円 			<p>大阪・関西万博に向けて、市内モノづくり事業者による満足度の高いオープンファクトリーが地域一体で実施されるようプログラム内容等の充実を図るためオープンファクトリー実施事業者などの養成プログラムを実施。また、国内外のクリエイターに対してプレッシャーを実施し、より実践的な説明機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークショップ (7/18、7/30、1/21) 参加企業：16社 ◆国内クリエイター向けプレッシャー (10/18、19) 参加者：6人、参加企業：5社、丹後織物求評会 ◆海外クリエイター向けプレッシャー (3/10、11) 参加者：3人、参加企業：5社 				
	○万博自治体参加催事出展費用負担金		2,400千円					
	<p>自治体参加催事に出展するにあたり、催事を取りまとめる万博首長連合に対して、催事会場のデザインや出展自治体等との調整、広報PRなどを行うための負担金。 本市を含む4自治体 (京丹後市、箕面市、泉大津市、泉南市) が合同で、「健康・美・長寿」をテーマにブース出展を行う。</p>							
	○その他経費		560千円	成果・課題	<p>○ロードマップにある取組に対して、万博推進協議会で進捗管理やアドバイスをいただき、本市における取組を推進した。 ○オープンファクトリーの実施に向け、実施事業者を養成するソフト面の環境整備を推進した。また、プレッシャーを行うことで事業者の説明能力を向上させることができた。 ○ロードマップに沿って、2025年開幕の万博に向けて準備を進め、市民や関係団体等とともに取組を推進・実行する必要がある。</p>			
	職員旅費、駐車場使用料、有料道路通行料、通訳謝金							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 20,759千円	最終予算額 20,773千円	不用額 14千円	執行率 99.9 % (参考)当初予算額 23,581千円	部	商工観光部				
	項	01 商工費						課	商工振興課			
	目	02 商工振興費					府補 きょうと地域連携交付金（企業立地支援事業） 8,100千円					
	事業	15 企業立地推進事業										
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源 市の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知するとともに、市内外企業等の立地を促進することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。									
目的												
主要な事務・事業の概要	○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数25人） 20,364千円 ・企業立地助成金 4,000千円 一定規模以上の投資を行い市民正規雇用者数を3人（中小企業は2人）以上増加させた「指定事業所」に対して、同雇用者数1人当たり100万円を限度として設備投資経費や人件費に充当できる助成金を交付 対象指定事業所：2社 ・企業立地奨励金 16,364千円 「指定事業所」に対し、新增設された事業所の投下固定資産（土地・建物・償却資産）に対し課税された固定資産税相当額を限度に奨励金を交付 対象指定事業所：7社			○企業立地促進事業 395千円 ・企業情報検索システム使用料 40千円 ・旅費（企業誘致活動） 221千円 ・駐車場使用料・有料道路通行料 54千円 ・京都市府市町村企業誘致推進連絡会議負担金 80千円 （京都府用地バンクの運営、展示会のブース出展、企業誘致説明会開催など）								
				成果・課題 ○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定化を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金等、京丹後市に立地することで企業にとってプラスになる制度のPRを行い、企業立地を推進するとともに、京丹後市新経済戦略推進会議などにおいて、さらに効果的な企業立地施策を検討する必要がある。								

予算科目	款	07 商工費	796千円	804千円	8千円	執行率 99.0 % (参考)当初予算額 851千円	部 商工観光部	
	項	01 商工費						
	目	02 商工振興費						
	事業	16 工業団地維持管理事業						
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに、魅力的な立地環境を維持する。							
主要な事務・事業の概要	○工業団地の維持管理経費		796千円					
	・ 入口看板照明電気料（赤坂工業団地）		12千円					
	・ 草刈等環境美化業務委託料		781千円					
	・ 水路及び水道敷地用地借上料（大山工業団地）		3千円					
	(参考) 工業団地別の内訳		(単位：千円)					
		団地名	面積 (㎡)	光熱 水費等	委託料	土地 借上料	その他	計
		①赤坂工業団地（峰山）	63,121	12	734	-	-	746
	②清水工業団地（大宮）	28,151	-	-	-	-	-	
	③大山工業団地（丹後）	32,962	-	47	3	-	50	
	④永留工業団地（久美浜）	41,489	-	-	-	-	-	
	⑤谷工業団地（久美浜）	61,703	-	-	-	-	0	
	合計	227,426	12	781	3	0	796	
	成果・課題	○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。 ○いずれも合併前に整備された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等処理し、維持管理する必要がある。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							52,644千円	88,411千円	35,767千円	59.5%
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	17 創業支援事業										8,000千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	地域経済循環創造事業交付金(2/3)		28,332千円					
目的	新規創業者や市内の空き店舗・空き工場等を活用した新たな取組への支援を行い、新規創業・新産業の創出及び地域経済の活性化を図る。			府補	きょうと地域連携交付金(商工業等積極展開支援事業)		5,000千円					
主要な事務・事業の概要	○創業等支援補助金		10,144千円									
	中小企業者等が行う創業や空き店舗の活用に関する取組を支援											
	・補助率：4分の1以内(上限額：100万円)											
	内訳	創業支援事業(創業時)	9件	7,762千円								
	空き店舗・空き工場等の活用促進事業(開業時)	4件	2,382千円									
○地域経済循環創造事業補助金		42,500千円										
地域金融機関と連携し、地域資源を活用した民間事業者の新たなビジネスの立ち上げ(創業)を支援												
対象事業	海を臨む空家を再生した地域資源のハブとなる宿整備事業											
実施場所	網野町掛津											
総事業費	35,000千円											
補助金額	17,500千円(うち国 11,666千円)											
対象事業	サウナ付き古民家宿泊施設による新しい地域観光事業											
実施場所	久美浜町神谷											
総事業費	53,000千円											
補助金額	25,000千円(うち国 16,666千円)											
				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	53,411千円						
					実質的な予算執行率	98.5%						
				■令和7年度への繰越事業								
				・地域経済循環創造事業補助金 令和7年7月完了		35,000千円						
				対象事業	山陰海岸ジオパークを有効活用し京丹後をマリンレジャーの拠点にするために必要な宿泊施設整備事業							
				実施場所	網野町下岡、丹後町間人							
				総事業費	102,500千円							
				補助金額	35,000千円(うち国 23,333千円)							
				成果・課題	○創業等支援補助金により、多くの方に幅広い案件で活用いただき、昨年度同件数の創業支援を行った。 ○地域経済循環創造事業補助金により、新たに2件の宿泊施設が操業を開始した。 ○今後は、限られた財源の中で市だけでなく、活用可能な国府の制度の案内を強化することや、現行の創業支援補助金のほか、制度活用後も事業者が継続して事業を営めるよう、金融機関や関係機関と連携した伴走支援が必要。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 131千円	最終予算額 131千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				100.0 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	19 商工業総合振興事業				0千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源				
目的	本市商工業の総合的な振興、活力のある地域経済の発展と豊かな市民生活の実現を推進するため、京丹後市商工業総合振興条例に基づき「京丹後市新経済戦略推進会議」を運営し、同条例に基づく施策の推進、評価、見直しを行うもの。						
主要な事務・事業の概要	○京丹後市新経済戦略推進会議 131千円 ・委員報酬 112千円 第1回 (R6.12.24) 14人 × 4千円 = 56千円 第2回 (R7.2.18) 14人 × 4千円 = 56千円 ・費用弁償 19千円 ・委員数18人 (市外委員7人、市内委員11人)						
	成果・課題	○新経済戦略の策定に向けて、有識者・関係団体等からなる「新経済戦略推進会議」を2回開催し、地域経済の現状や戦略の方向性について議論を行った。 ○新経済戦略の策定に向けて、具体的な施策の検討や実行主体の整理を引き続き行っていく。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							209千円	247千円	38千円	84.6 %
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	50 商工振興一般経費										247千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源									
目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費											
主要な事務・事業の概要	○職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料		191千円									
	○消耗品費（新聞購読料）		18千円									
							成果・課題					
							商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							1,841千円	1,858千円	17千円	99.0%
	目	03 繊維産業振興費										(参考)当初予算額
	事業	01 産地振興事業										590千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)			250千円					
目的	丹後織物工業組合を主体とした販路開拓・人材育成・技術継承等に係る織物振興施策を支援するとともに、全国の自治体との連携の推進や地元織物関係事業者等による和装振興等に関する取組を支援することで、和装産業及びシルク産業の振興と魅力ある地域づくりを推進する。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○丹後織物産地振興事業費補助金		1,068千円		○シルクのまちづくり市区町村協議会 (32市区町村)					67千円		
	産地の稼ぐ力の拡大、産地を支える人材育成に資するため、丹後織物工業組合が実施するTANGO OPEN CENTER事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援			・職員旅費、有料道路通行料 総会、視察研修 (5/29~31:新潟県十日町市)								
	【総事業費】 6,290千円 【負担割合】 市17%、町8%、府50%、組合25% 【主な事業】 特急列車専用オブジェなど新商品開発、織物求評会の開催など			○森田翁顕彰会負担金					50千円			
○タンゴオープンヴィレッジ構想実施支援補助金		500千円	森田翁慰霊祭の開催 (11/2)									
令和5年度に丹後織物工業組合が策定した「タンゴオープンヴィレッジ構想基本計画」に基づいて実施する事業を支援			○職員旅費、有料道路通行料					63千円				
【総事業費】 1,012千円 (補助割合 1/2) 【主な事業】 事業構想推進ワークショップの開催、実演用織機に係る整備												
○全国和装産地市町村協議会 (会員数: 15市町)		93千円	成果・課題					○丹後織物工業組合による織物求評会の開催等販路開拓の取組や、鉄道会社と連携した商品開発事業の取組等を支援した。 ○「稼ぐ産地」を目指すために、タンゴオープンヴィレッジ構想に基づく産業観光の推進、新分野展開や商品開発等の取組を引き続き支援するとともに、人材確保、生産基盤の維持等の課題について検討していく必要がある。				
・負担金		10千円										
「日本のそめおり展」への出品 (7/14~8/20:京都市)												
・職員旅費		83千円										
総会、視察研修 (11/28~30:鹿児島市)												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							20,501千円	20,611千円	110千円	99.4 %
	目	03 繊維産業振興費										(参考)当初予算額
	事業	02 新シルク産業創造事業										21,887千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)		9,716千円					
				寄附金	ふるさと応援寄附金		5,300千円					
目的	京都工芸繊維大学との連携の下、取り組んできた新シルク産業創造に向けた基礎研究の成果を事業化へと繋げるため、京丹後市新シルク産業創造館の運営を行うとともに、シルク関連事業者が行う産学連携研究、創業、人材育成等を支援し、地域産業の基盤強化と成長を促進する。											
主要な事務・事業の概要	○新シルク産業創造事業運営経費 20,063千円		○新シルク産業創造事業アドバイザー謝金 (2人) 87千円									
	<p>新シルク産業創造館において、本市が京都工芸繊維大学との連携の下取り組んできた研究の成果を活用し、新たな産業の創出に向けたビジネスモデルの構築を目指すこと及び当施設、設備の維持管理に関する業務を委託により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新シルク産業創造事業業務委託料 13,600千円 (期間：令和3年8月1日～令和8年3月31日) ・クリーンルーム空調設備定期修繕 1,188千円 ・クリーンルーム空調設備圧縮機交換 4,147千円 ・新シルク産業創造館施設保守管理 (通年) 1,128千円 <ul style="list-style-type: none"> 施設機械警備業務委託料 79千円 電気設備保安全管理業務委託料 359千円 消防設備保守点検業務委託料 49千円 通信費 (機械警備システム用) 70千円 修繕料 (防火戸、備品) 571千円 		<ul style="list-style-type: none"> ○職員旅費 60千円 ○公用車運行管理費 (2台分) 254千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費 65千円 ・車検費用等その他 183千円 ・テレビ受信料 6千円 ○消耗品費、有料道路通行料、駐車場使用料 37千円 									
			成果・課題	<p>○これまでの研究成果を活用し、令和6年度も年間掃立目標頭数24万頭を達成した。</p> <p>○増産体制構築に向けては、養蚕の自動化に向けた設計開発が進み、体制構築の実現可能性が示されるとともに、省人力化に不可欠となる独自人工飼料開発も実装目前まで進捗が図られた。</p> <p>○販売に向けては、新シルク産業創造館の繭を原料とした生糸を流通させるべく丹後地域織物事業者と協議を進めるとともに、タンパク成分を活用した様々な分野への原料開発・製品開発が進められた。</p>								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 6,713千円	最終予算額 7,449千円	不用額 736千円	執行率 90.1 % (参考)当初予算額 15,305千円	部 課	商工観光部 商工振興課																					
	項	01 商工費																											
	目	04 商工施設費																											
	事業	01 峰山織物センター管理運営事業																											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	使用料	公有財産使用料	124千円																							
目的	峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供することで、織物業の振興及び住民の福祉増進を図る。			使用料	峰山織物センター使用料	82千円																							
				市債	商工施設整備事業債（合併特例債）	3,600千円																							
主要な事務・事業の概要	○峰山織物センター運営管理経費		2,894千円	【延べ利用人数】 4,041人																									
	<ul style="list-style-type: none"> 日直代行業務委託料 785千円 燃料、光熱水費（ガス代、電気代、水道料） 1,057千円 施設警備委託料 45千円 駐車場用地借上料 306千円 維持管理消耗品、印刷製本費、修繕料 498千円 消防設備・防火対象物点検業務委託料 105千円 庭木剪定委託料 31千円 通信運搬費（電話使用料） 47千円 消火器更新 9千円 テレビ受信料等 11千円 			<ul style="list-style-type: none"> 利用目的別利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議</th> <th>研修</th> <th>教室</th> <th>サークル活動</th> <th>スポーツ・レクリエーション</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63件</td> <td>0件</td> <td>64件</td> <td>258件</td> <td>20件</td> <td>405件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 部屋別利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会議室</th> <th>小会議室</th> <th>教養室</th> <th>第1・2研修室</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>117件</td> <td>85件</td> <td>63件</td> <td>149件</td> <td>414件</td> </tr> </tbody> </table>					会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計	63件	0件	64件	258件	20件	405件	大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計	117件	85件	63件	149件
会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計																								
63件	0件	64件	258件	20件	405件																								
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計																									
117件	85件	63件	149件	414件																									
○峰山織物センター西側トイレ改修工事		3,819千円	成果・課題	○教室・サークル活動を中心に多くの施設利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。																									
<ul style="list-style-type: none"> 工事監理委託料 825千円 工事請負費 2,994千円 トイレ配管敷設替、便器洋式化（3基）																													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							4,564千円	4,565千円	1千円	99.9 %
	目	04 商工施設費										(参考)当初予算額
	事業	02 商工等指定管理施設運営事業										4,922千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	使用料	公有財産使用料		100千円					
目的	大宮織物ホール、弥栄機業センターの維持管理及び運営を指定管理者に委託し、施設の有効活用と施設利用者の利便性の向上を図る。			諸収入	大宮織物ホール電気料		280千円					
				諸収入	弥栄機業センター火災保険料負担金		1千円					
				諸収入	大宮織物ホール光熱水費負担金		127千円					
主要な事務・事業の概要	○大宮織物ホール指定管理委託料（委託先：市商工会）		3,250千円									
	○大宮織物ホール土地借上料（2,369㎡）		1,212千円									
	○弥栄機業センター指定管理委託料（委託先：市商工会）		102千円									
	(参考) 延べ利用人数 ・大宮織物ホール 2,540人 ・弥栄機業センター 2,414人											
			成果・課題	○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹后市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、引き続き、計画的に修繕等を行っていく必要がある。								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	商工観光部
	項	01 商工費	2,729千円	2,736千円	7千円	(参考)当初予算額	99.7%					
	目	04 商工施設費					1,813千円	課	商工振興課			
	事業	50 商工施設一般経費										
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	諸収入 弥栄機業センター光熱水費負担金 8千円								
目的	商工業の振興に関わる施設の維持管理を行う。											
主要な事務・事業の概要	○旧丹後商業活性化センター ・公衆トイレ管理委託料（委託先：間人区） ・雨漏り調査		582千円 494千円 88千円	○京都工芸繊維大学京丹後キャンパス ・修繕費（女子トイレ、キュービクル内計器）		393千円						
	○弥栄機業センター電気代負担金 ○御旅市場商店街駐車場（旧小谷医院跡地）外灯電気代 ○旧三津小学校 ・グラウンド法面伐採委託料 ・除草作業委託料 ・修繕料（ポンプ、給水設備等） ・水道料補償金 ・ごみ持込手数料		8千円 6千円 1,675千円 770千円 185千円 637千円 80千円 3千円	○食品加工支援センター水質検査費用		10千円						
○あしぎぬ苑 ・管理委託料（委託先：鳥取老人会） ・水道使用料、開閉栓手数料		55千円 52千円 3千円	成果・課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○老朽化が進んでいる施設について、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 5,638千円	最終予算額 5,684千円	不用額 46千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				99.1 %	
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事業	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業				0千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源 国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)			2,497千円
目的	「美食都市アワード2024」の受賞を受け、本市の強みである“食の魅力”に磨きをかけ、市内外の料理人が協調して全国に「“旬”でもてなす食の観光」を発信することにより、豊富で多彩な旬の食を活かした滞在型観光を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○「食」を通じた観光誘客プロジェクト 5,638千円 美食都市「京丹後」シティプロモーション委託事業 4,695千円 ・京丹後ガストロノミーシンポジウム開催 開催日：11月4日 場所：アミティ丹後 地域の食材と食文化を活かした滞在型観光の推進のため、美食都市によるまちづくりについて考えるシンポジウムを開催（参加者約80人） ・有名シェフ等との交流会 開催日：11月4日 場所：まちまち案内所 有名シェフを招き、市内の飲食店経営者、料理人、生産者等を交えての交流会を実施（参加者約10人） ・PR事業（メディア掲載） 『料理王国』（令和7年1月6日発行号）美食都市・京丹後の魅力 『料理王国』（令和7年3月6日発行号）“美食都市アワード”受賞の京丹後市がガストロノミーを考えるシンポジウムを開催 『旅の手帖』（令和7年3月10日発行号）京丹後へおいしい健康旅			日本美食都市フォーラム参加経費 943千円 開催日：10月7日 場所：東京八重洲ミッドタウン 受賞都市間の連携とネットワーク強化を図るため、フォーラムに参加 参加負担金 800千円 職員旅費（3人） 133千円 駐車場使用料、有料道路通行料 10千円			
	成果・課題	○美食都市アワード2024の受賞を広く周知し、「美食都市・京丹後」としての認知度を向上させることができた。 ○シンポジウムの開催により、市民や事業者が、京丹後の食材や食文化の価値を再認識し、食のまちの機運醸成に繋がった。 ○観光誘客へと繋げていくためには、更なる具体的な取組が必要である。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	商工観光部
	項	01 商工費	10,661千円	10,712千円	51千円	99.5 %						
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額						
	事業	02 1次世界ジオパーク推進事業				10,696千円	課	観光振興課				
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（1次世界ジオパーク推進事業）	100千円						
		府補		ジオパーク推進事業補助金（1/2）	1,000千円							
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保全するとともに、教育や産業振興への活用を図る。また、専門的な知識を有するガイドを養成し、山陰海岸ジオパークの魅力を発信する。			繰入金	地域振興基金繰入金	4,000千円						
主要な事務・事業の概要	○ジオパーク市情報センター（拠点施設）、ジオサイトの整備及び管理運営 6,404千円			○ジオパーク世界再認定審査対応等 71千円								
	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設運営管理（道の駅てんきてんき丹後内） 4,302千円 （業務委託料、清掃用具借上料、電気代相当負担金） ジオサイト保全管理 1,716千円 （草刈委託2回） ジオサイト看板修繕、張替 386千円 （郷村断層3基、立岩2基、大成古墳群1基、小天橋1基、丹後砂丘1基） 			<ul style="list-style-type: none"> ・謝金、費用弁償、旅費 								
	○山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等 437千円			○京丹後市ジオパーク最大活用会議（3回分） 39千円								
	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット印刷費用、PR缶バッチ資材等 			<ul style="list-style-type: none"> ・委員謝金、費用弁償 								
	○第14回日本ジオパーク全国大会in下北 参加経費 287千円 （開催時期：8月29日～9月1日 開催場所：青森県下北）			○ガイド養成講座開催（講師謝金2人分） 21千円								
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会参加旅費（ガイド、職員分） 272千円 ・全国大会参加負担金（3人分） 15千円 			○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 3,402千円								
				成果・課題	○ジオサイトの草刈りや海岸清掃を行い、ジオパークの保全活動につながった。 ○ガイド養成講座やスキルアップ講座の開催により、ジオパークの魅力を発信するガイド育成につながった。 ○ジオサイトを紹介する看板の張り替えやパンフレットの増刷など、魅力発信を行い、他市町との一体的な取り組みを進めた結果、ユネスコ世界再審査において4年間の再認定となった。一方で、世界審査は4年毎に実施されるため、継続した取組が必要である。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 3,519千円	最終予算額 3,641千円	不用額 122千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				96.6 %	
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事業	03 滞在型観光地づくり推進事業				2,592千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	100千円	
目的	まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等(コンベンション、スポーツ大会、イベント等)を主催する団体に対し補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致する。 また、友好都市である木津川市との交流事業を実施し、通年滞在型観光地づくりを推進する。			府補	きょうと地域連携交付金(滞在型観光地づくり推進事業)	600千円	
			諸収入	eバイク共同予約システム利用負担金	660千円		
主要な事務・事業の概要	○観光業等活性化推進事業補助金 1,200千円 交付件数：7件(400千円×2件、80千円×5件) 宿泊者数：2,919人 ※400千円：1,000~2,000人未満、80千円：100~500人未満		○システム保守管理料(eバイク予約管理システム保守管理) 660千円 予約件数：3件、決済台数：4台				
	○木津川市・京丹後市交流事業協議会負担金 878千円 【構成団体】 木津川市、京丹後市観光公社、京丹後市 【事業概要】 平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市連携に関する盟約書」に基づく、本市の旅館等における宿泊補助事業を実施 【実施事業】 友好都市京丹後へ行こう！フレンドシップキャンペーン ・対象者：木津川市民(369人泊) ・補助内容：令和6年7月12日~令和7年3月30日宿泊分 宿泊補助 上限2,000円/人・泊 京丹後デジタルポイント 上限500円/人		○滞在型観光地づくり「顧客体験価値向上」支援補助金 689千円 交付件数：7件(上限100千円) 釣り体験、竹細工、着物と抹茶体験、砂浜アート体験、プレミアムヨガ体験など様々な体験メニューの造成を支援				
			○全国道の駅連絡会会費 20千円 ○近畿道の駅連絡会会費 27千円 ○国民保養温泉地協議会負担金 45千円				
成果・課題			○観光業等活性化推進事業補助金は延べ2,919人の宿泊につながった。 ○フレンドシップキャンペーンは、木津川市との連携強化により、369人泊分の利用があり、京丹後デジタルポイント付与により、市内周遊観光、滞在型観光地づくりを推進できた。 ○「顧客体験価値向上」支援補助金では、新たな体験メニューの造成と宿泊事業者との連携により、滞在型観光の推進につながった。 ○eバイク予約管理システムの利用の促進を引き続き図っていく。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							13,360千円	13,434千円	74千円	99.4 %
	目	05 観光振興費										(参考)当初予算額
	事業	04 日本一の砂浜海岸づくり推進事業										15,761千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金 (1/2)		224千円					
目的	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守し開設する海水浴場開設者に、開設経費の一部を支援し、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。			府補	きょうと地域連携交付金 (滞在型観光地づくり推進事業)		4,600千円					
				府補	きょうと地域連携交付金 (環境保全事業)		900千円					
			寄附金	ふるさと応援寄附金		3,000千円						
主要な事務・事業の概要	○水難対策経費		688千円	○砂浜海岸の保全事業費		2,428千円						
	・水難啓発救助委託料		80千円	・一斉クリーン作戦消耗品費 (フレコンバッグ等)		416千円						
	・消耗品費 (ビブス・AEDパッド・救急旗)		472千円	・クリーン作戦企画運営委託料		11千円						
	・備品購入費		20千円	・海水浴場清掃美化業務委託料		1,927千円						
ライフジャケット (1個)			・ワンハンドビーチ事業 (啓発ポスター作成)		69千円							
・連絡所等修繕料等		116千円	・海岸清掃セミナー		5千円							
○海水浴場開設者支援事業補助金		9,287千円	○未来earthクリーン事業									
(連絡員業務に係る連絡所及び必要備品の設置並びに人件費)			・消耗品費 (「TSUNAGU」ロゴ入り手袋)		167千円							
全15海水浴場のうち、14海水浴場が開設			○砂浜海岸の活用事業		495千円							
○海水浴場情報配信システム		295千円	・遊歩道堆積砂撤去委託料									
・システム使用料		132千円										
・機械器具借上料		163千円										
			成果・課題	○府条例及びガイドラインに基づく安全・安心な海水浴場を実現し、夏季の誘客を下支えすることができた。 ○年間を通し、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行うことで、砂浜海岸の良好な景観を維持した。 ○クリーン作戦により、市民等へ美しい砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発することができた。 ○砂浜海岸の保全について、環境配慮型の取組と発信が必要である。								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							25,431千円	25,431千円	0千円	100.0%	
	目	05 観光振興費											(参考)当初予算額
	事業	05 イバウト・宿泊促進強化事業											
課	観光振興課	25,431千円											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	繰入金 観光イバウト整備等促進実行調整費基金繰入金									
目的	観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、観光の魅力づくりに寄与するインフラ整備事業に補助金を交付し、本市の自然や温泉等を活かした魅力ある観光地づくりを推進する。												
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金		25,431千円										
			(単位：千円)										
	事業区分	No.	事業名	事業費	補助金								
	温泉源・配湯施設改修等事業	1	いっぺん庵温泉ポンプ・揚湯管取替工事	5,841	2,655								
		2	丹後神野温泉利用組合配湯管修繕工事	330	270								
		3	丹後神野温泉源配湯管取替工事	1,509	1,234								
		4	久美浜カンツリー温泉配管修繕等事業	726	594								
	砂浜清掃用機械購入等事業	5	砂浜清掃用機械購入等事業	11,000	9,000								
		6	掛津区海岸清掃用重機修繕	418	341								
		7	遊区海岸清掃用クローラー購入事業	5,632	4,608								
誘客サイン整備等事業	8	夕日ヶ浦温泉観光看板取替工事	4,962	2,255									
	9	夕日ヶ浦温泉観光看板取替工事	2,094	951									
その他事業	10	花郷OKADA観光花公園増設事業	7,751	3,523									
計(10件)			40,263	25,431									
成果・課題	<p>○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、観光誘客サインの整備等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。</p> <p>○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。</p>												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							46,875千円	46,875千円	0千円	100.0 %	
	目	05 観光振興費											(参考)当初予算額
	事業	06 観光インフラ整備等促進実行調整費基金											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		財産収入		観光インフラ整備等促進実行調整費基金		110千円						
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金		46,765千円										
	(参考) 令和5年度入湯税収入額		46,765,100円										
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金(利子分)		110千円										
(参考) 基金の状況		(単位：千円)											
令和5年度末 現在高		令和6年度中増減額		令和6年度末 現在高									
①	②	③	④	①-②+③+④									
107,122	30,634	110	46,765	123,363									
						成果・課題							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,118千円	最終予算額 2,149千円	不用額 31千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				98.5 %	
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事業	07 観光プロモーション推進事業				2,613千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補 ぎょうと地域連携交付金（観光振興事業）			400千円	課 観光振興課
目的	各種イベントで広報活動を行い、観光資源や観光情報の発信を行うとともに、広域観光団体と連携を図り、域内周遊観光や観光誘致の促進を図る。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○観光宣伝活動等事務経費 214千円 ・旅費、有料道路通行料等 104千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 110千円 ○広域観光団体負担金 1,864千円 ・（一社）豊岡観光イノベーション（豊岡版DMO） 300千円 ・（公社）京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 1,074千円 ・（特非）ジャパン・フィルムコミッション 100千円 ○観光入込客数及び観光消費額調査費 4千円 市内宿泊施設を対象とした調査に係る返信用封筒（ミニレターパック）代			○「ミニポートピア京丹後9周年競走大会」入賞賞品【政策企画課】 36千円 開催日：9月10日から9月14日まで 開催場所：尼崎ボートレース場 ・BTS京丹後開設9周年記念競走に係る大会入賞商品 36千円 （優勝カップ、丹後コシヒカリ米）			
	成果・課題	○広域観光団体と連携をして、観光資源や観光情報の発信を行い、域内周辺観光の促進や観光客誘致につながった。 ○フィルムコミッション活動の一環である、撮影現場への立ち合いや全国のフィルムコミッション会員との情報共有により、京丹後の認知度向上につながった。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 141,444千円	最終予算額 141,513千円	不用額 69千円	執行率 99.9 % (参考)当初予算額 100,802千円	部 課	商工観光部 観光振興課	
	項	01 商工費							
	目	05 観光振興費							
	事業	08 地域総ぐるみ観光地づくり事業							
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源 国補 繰入金	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2) ふるさと応援基金繰入金		7,909千円 32,000千円			
目的	京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)への参画と、同京丹後地域本部(京丹後市観光公社)の活動支援により、魅力ある観光地づくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)運営負担金		15,782千円	○地域活性化起業人制度受入事業負担金		16,667千円			
	府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、「インバウンド」と「デジタルマーケティング」という2本柱を中心に、ファミトリップ誘致を始めとしたインバウンド推進、海の京都ブランドの醸成、着地型コンテンツ・プランの企画・造成・販売による地域事業者の付加価値創出等に向けた事業に取り組んだ。		総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。		令和5年4月1日～令和8年3月31日(予定)(1人・㈱日本旅行)		令和6年8月1日～令和9年7月31日(予定)(1人・日本航空㈱)		
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部(京丹後市観光公社)補助金		100,000千円	・配置部署: 商工観光部観光振興課[勤務場所: 京丹後市観光公社]		・活動内容: ヘルスツーリズム、インバウンド・首都圏誘客キャンペーン等			
	事業費	国内外観光プロモーション・マーケティング事業		46,007千円	○国際交流員(CIR)任用経費(1人)		5,158千円		
		インナープロモーション事業		1,839千円	京丹後市観光公社へ派遣(令和6年8月に新IB CIR交代)				
		「海の京都」認定観光案内所事業		5,928千円	報酬、社会保険料、雇用保険料、研修旅費		4,263千円		
		受託業務事業(みらいにつなぐ観光振興事業等)		21,126千円	新任CIR受入経費		435千円		
		海の京都エリア活性化事業(6支部活動補助金)		3,622千円	一般財団法人自治体国際化協会負担金		460千円		
		小計		78,522千円					
	管理費	本部・支部の事務経費及び支部職員の人件費等		21,478千円	成果・課題		○SNS等を活用したデジタルプロモーションの実践と、各種キャンペーンの実施により京丹後の認知度向上を図った。 ○外国語版ウェブサイト的大幅な改修や、外国語版体験動画の作成により、インバウンド受入態勢の強化を図った。 ○地域おこし企業人交流プログラム事業の活用により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、誘客キャンペーン等を実施した。 ○市域全体で観光プロモーションが進むよう、観光公社会員の増加と異業種間連携の促進に繋がる仕組みづくり等、引き続き推進する必要がある。		
○京丹後市観光立市推進会議委員報酬・費用弁償・特別旅費		597千円							
・全体2回、検討部会1回、視察3回(たつの市、備前市、美浜町、多気町)									
○地域おこし協力隊業務委託料(1人)		3,240千円							
協力隊による久美浜町地域の観光拠点創出により地域振興を支援した。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							45,603千円	46,068千円	465千円	98.9 %
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額
	事業	01 海浜等施設管理事業										53,986千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	諸収入	海浜等施設光熱水費利用負担金		21千円					
目的	海水浴場に設置されているトイレ、シャワー、更衣室等の観光関連施設の清掃、維持管理を行うことにより、観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。			市債	観光施設整備事業債（合併特例債）		33,900千円					
主要な事務・事業の概要	○海浜等施設管理経費〔一部、各町域の市民局へ配当〕 ・管理用消耗品費 93千円 ・光熱水費 2,872千円 ・修繕料 753千円 ・手数料（し尿処理・浄化槽法定点検等） 787千円 ・委託料（海水浴場清掃美化・浄化槽維持管理等） 5,065千円 ・土地借上料（中浜オートキャンプ場用地） 163千円			○掛津海浜トイレ整備事業（改修工事） 31,059千円 ・し尿汲取手数料 79千円 ・仮設トイレ借上料 129千円 ・委託料（工事監理業務） 1,628千円 ・工事請負費 29,223千円 ○海水浴場公衆トイレ改修工事 4,811千円 男子トイレ洋式化：〔小天橋、浜詰3か所、遊、小浜、砂方、竹野、中浜2か所、久僧（1基ずつ計11か所）〕 女子トイレ：久僧（1基）								
				成果・課題	○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ、脱衣所、炊事棟等の適切な維持管理や、男子トイレの一部洋式化により、快適な利用環境を提供することができた。 ○安全・快適な利用環境を確保するため、計画的に修繕を進めていく必要がある。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							72,444千円	89,870千円	17,426千円	(参考)繰越予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費												
	事業	01 海浜等施設管理事業（繰越）												
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	市債 観光施設整備事業債（過疎債）				72,100千円						
目的	海水浴場に設置されているトイレ、シャワー、更衣室等の観光関連施設の清掃、維持管理を行うことにより、観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。													
主要な事務・事業の概要	○琴引浜掛津海水浴場公衆トイレ整備工事 72,444千円 手数料（水道接続） 1千円 委託料 工事監理委託料 1,408千円 工事請負費 放流管渠敷設 6,342千円 建築主体工事 29,621千円 機械設備工事 34,788千円 原材料（ロープ柵） 18千円 負担金（水道加入金） 266千円			成果・課題	観光客等の施設利用に係る安全性、利便性及び快適性を提供することができた。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部												
	項	01 商工費							15,250千円	15,347千円	97千円	99.3%								
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額								
	事業	02 自然公園管理事業										15,357千円								
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府委	国立公園・国定公園管理委託金		12,100千円														
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適切な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。			市債	観光施設整備事業債（合併特例債）		900千円													
主要な事務・事業の概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。			主な財源																
	<p>○自然公園施設等管理経費〔各町域の市民局へ配当〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道） 6,659千円 ・自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 2,653千円 ・トイレ清掃、水道施設管理、バイオトイレ維持管理委託料 1,487千円 ・し尿汲取手数料（7園地） 1,403千円 ・修繕料（犬ヶ岬園地トイレ修繕、葛野園地トイレ修繕） 114千円 ・消耗品費、光熱水費（10園地） 1,730千円 ・土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地） 160千円 				<p>【参考】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然公園名</th> <th>町名</th> <th>園地等の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">山陰海岸国立公園</td> <td>久美浜町</td> <td>かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>浜詰、夕日ヶ浦、五色浜</td> </tr> <tr> <td>丹後天橋立大江山国定公園</td> <td>丹後町</td> <td>小浜、掛津、遊、三津</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自然公園公衆トイレ洋式化改修工事〔葛野浜、湊松原〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 1,044千円 				自然公園名	町名	園地等の名称	山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜	丹後天橋立大江山国定公園	丹後町	小浜、掛津、遊、三津	
自然公園名	町名	園地等の名称																		
山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石																		
	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜																		
丹後天橋立大江山国定公園	丹後町	小浜、掛津、遊、三津																		
		後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬																		
	<p>○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全に取り組んだ。</p> <p>○自然公園に設置しているトイレの適切な維持管理や、男子トイレの一部洋式化により、快適な利用環境を提供することができた。</p> <p>○改修の必要な施設について、現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めていく必要がある。</p>			成果・課題																

予算科目	款	07 商工費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費		182,548千円	182,988千円	440千円	99.7%		
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額		
	事業	03 観光等指定管理施設運営事業					185,197千円	課	観光振興課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金				11,747千円	
			市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債ノト）				74,100千円	
目的	観光関連施設の効果的かつ効率的な管理運営と利用者サービスの向上を図るため、指定管理者に施設の管理運営を委託するとともに、施設設備の適切な維持管理を行う。			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○委託料			167,604千円	○需用費（あしぎぬ温泉電気代等）			11,514千円	
	・電気設備保守（弥栄あしぎぬ温泉）			233千円	○修繕料（森林公園スイス村スノーモービル整備）			294千円	
	・雑木伐採委託料（小町公園）			464千円	○消耗品費			49千円	
	・特殊建築物定期報告業務委託料			1,870千円	○役務費			920千円	
	（浅茂川温泉静の里、はしうど荘、よし野の里、あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）				・水質検査等手数料			896千円	
	・指定管理委託料			165,037千円	・ごみ持込処理手数料（森林公園スイス村備品処分）			20千円	
					・その他（し尿汲取手数料、水道開閉栓手数料）			4千円	
					○使用料及び賃借料			2,167千円	
					・土地借上料（施設用地9か所）			1,307千円	
					・機械器具借上料（AED16台）			805千円	
				・仮設トイレ借上料（スイス村トイレ湯水緊急対応）			55千円		
					成果・課題	○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行うことができた。 ○光熱費等が高騰する中、施設の運営が安定して継続できるよう支援を行った。 ○老朽化が進む施設において、安全性・快適性が確保できるよう、指定管理者と情報を共有しつつ、適切に維持管理を行っていく必要がある。			
		施設名	金額	施設名	金額				
		天女の里	11,043千円	よし野の里	14,767千円				
		小町公園	3,865千円	森林公園スイス村	36,883千円				
		浅茂川温泉静の里	36,741千円	あしぎぬ温泉	19,794千円				
		道の駅てんきてんき丹後	15,366千円	豪商「稲葉本家」	6,233千円				
		はしうど荘	8,459千円	かぶと山公園	7,292千円				
		碓高原ステーキハウス	4,594千円						
				合計	165,037千円				
※指定管理委託料は、使用料見直し、人件費・燃料費等の高騰支援を含む。 (加算額合計：26,958千円)									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							66,367千円	127,522千円	61,155千円	52.0%
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業										67,820千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	15,000千円						
目的	観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。			諸収入	市有建物損害共済金	28千円						
			市債	観光施設整備事業債（合併特例債）	42,500千円							
主要な事務・事業の概要	○修繕料		3,491千円	○備品購入費		14,570千円						
	・浅茂川温泉静の里 昇温用配管修繕ほか6件		1,473千円	・森林公園スイス村 雪上車1台、歩行型除雪機1台		13,768千円						
	・道の駅てんきてんき丹後 自動ドア修繕ほか1件		354千円	・エアコン5台、水質検査機器1台、メガホン1台		802千円						
	・はしうど荘 竹垣修繕ほか3件		394千円	○委託料（設計・監理、調査、産廃処分、看板製作、施設清掃）		8,142千円						
	・森林公園スイス村 エレベーター修繕ほか1件		227千円	○原材料費（杭、真砂土）		77千円						
	・あしぎぬ温泉 天井照明ケーブル取替修繕ほか3件		396千円	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	66,379千円						
	・かぶと山公園 自閉水栓取替修繕		137千円		実質的な予算執行率	99.9%						
	・よし野の里 配管修繕ほか3件		425千円	■令和7年度への繰越事業		61,143千円						
	・天女の里 ポンプ取替修繕		85千円	・よし野の里エアコン設備改修 令和7年7月完了		29,943千円						
	○工事請負費		39,845千円	・よし野の里ウッドデッキ改修 令和7年8月完了		9,600千円						
・よし野の里 テラス改修工事ほか6件		10,677千円	・よし野の里塩素濃度監視装置増設 令和7年10月完了予定		7,800千円							
・あしぎぬ温泉 浴室テラス等改修工事ほか4件		9,759千円	・あしぎぬ温泉塩素濃度監視装置増設 令和7年10月完了予定		5,900千円							
・豪商「稲葉本家」 瓦取替工事		4,993千円	・天女の里トイレ洋式化 令和7年8月完了		7,900千円							
・道の駅てんきてんき丹後 空調設備改修工事ほか2件		2,979千円	成果・課題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適切に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。 ○老朽化による不具合箇所を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。								
・はしうど荘 トイレ改修工事ほか6件		8,339千円										
・森林公園スイス村 トイレ改修工事ほか2件		2,225千円										
・かぶと山公園 遊具改修工事		505千円										
・浅茂川温泉静の里 屋根改修工事		368千円										
○手数料等（家電・自動車リサイクル料、自動車登録、備品処分等）		242千円										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 10,092千円	最終予算額 11,400千円	不用額 1,308千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				88.5 %	
	目	06 観光等施設費				(参考)繰越予算額	課 観光振興課
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業（繰越）				11,400千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源				
目的	観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。						
主要な事務・事業の概要	○森林公園スイス村 ろ過装置改修		1,828千円				
	○森林公園スイス村 ネット柵等整備 ネット柵：223m 門扉：4基		8,264千円				
			成果・課題	必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適切に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							20,012千円	31,925千円	11,913千円	62.6 %
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額
	事業	50 観光等施設一般経費										14,827千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金	1,025千円						
目的	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての環境づくりを推進する。			繰入金	観光1万円整備等促進実行調整費基金繰入金	5,203千円						
				諸収入	丹後温泉電力料・丹後温泉泉源管理負担金	729千円						
				諸収入	公共井戸水電力費・山内陶芸作業棟光熱水費負担金	97千円						
			諸収入	市有建物損害共済金	278千円							
市債	観光施設整備事業債（合併特例債）	1,300千円										
主要な事務・事業の概要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等）		8,769千円	<ul style="list-style-type: none"> 工事請負費 5,203千円 丹後温泉源施設改修等工事及び予備ポンプ取替等工事 委託料（離湖公園管理棟下水道水洗化改修工事設計） 1,430千円 備品購入費（間人みなと公園ゴミ収集ボックス購入） 186千円 								
	地域名	施設名										
	峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等										
	大宮地域	平地地蔵公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等										
	網野地域	子午線塔、静の杜、離湖公園、霧降の滝公園等										
	丹後地域	経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館等										
	久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設等										
	○その他の維持管理経費		11,243千円	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度への繰越事業 離湖公園管理棟下水道水洗化改修 令和7年10月完了予定 11,374千円 								
	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（施設管理用消耗品等） 103千円 燃料費（離湖管理棟灯油代） 3千円 光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等） 1,559千円 修繕料等（最北子午線塔 公園擬木手すり破損修繕等） 1,338千円 通信運搬費（離湖公園電話料） 32千円 手数料（し尿汲取手数料等） 525千円 保険料（建物火災保険） 1千円 土地借上料（ブナハウス内山用地） 834千円 負担金（おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担） 29千円 											
	成果・課題	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての安全で快適な施設環境を提供できた。										

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額 30,137千円	最終予算額 30,187千円	不用額 50千円	執行率 99.8 % (参考)当初予算額 30,676千円	部 課	市民環境部 生活環境課							
	項	01 保健衛生費													
	目	07 環境衛生費													
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】													
基本計画	05 次世代への美しい自然環境の継承		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（環境保全事業）		10千円								
目的	海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。			府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10・10/10）		28,155千円								
主要な事務・事業の概要	○海岸漂着物処理手数料		19,208千円	○海岸漂着物発生抑制対策（ソフト事業）経費		225千円									
	・海岸漂着物処理量 239.84t			環境保全ワークショップ（参加者数：12人）											
	○環境保全負担金		240千円	・講師謝金（1人）		10千円									
	・市外の処理施設で処理する場合に必要となる受入先自治体への負担金			・消耗品費		9千円									
	○海岸漂着物回収処理委託料（地元区、地元団体）		10,444千円	海岸清掃及び環境学習											
・市管理海岸分（6海岸）		3,877千円	・バス運転委託料（市内中学校1年生 259人対象）		118千円										
・府管理海岸分（11海岸）		6,567千円	啓発用物品等												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分（担当課）</th> <th>海岸名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市管理海岸（観光振興課）</td> <td>【久美浜】 蒲井海岸 【網野】 琴引浜（掛津、遊） 【丹後】 砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸</td> </tr> <tr> <td>府管理海岸（観光振興課）</td> <td>【久美浜】 箱石湊宮葛野海岸 【網野】 浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹後】 後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野、平）、久僧海岸</td> </tr> <tr> <td>府管理海岸（管理課）</td> <td>【丹後】 上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸</td> </tr> </tbody> </table>		区分（担当課）	海岸名称	市管理海岸（観光振興課）	【久美浜】 蒲井海岸 【網野】 琴引浜（掛津、遊） 【丹後】 砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	府管理海岸（観光振興課）	【久美浜】 箱石湊宮葛野海岸 【網野】 浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹後】 後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野、平）、久僧海岸	府管理海岸（管理課）	【丹後】 上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸		・エコバッグ（200個）		88千円		
区分（担当課）	海岸名称														
市管理海岸（観光振興課）	【久美浜】 蒲井海岸 【網野】 琴引浜（掛津、遊） 【丹後】 砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸														
府管理海岸（観光振興課）	【久美浜】 箱石湊宮葛野海岸 【網野】 浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹後】 後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野、平）、久僧海岸														
府管理海岸（管理課）	【丹後】 上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸														
○海岸漂着物ボランティア清掃支援		20千円	成果・課題		○市内17海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。 ○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施及び啓発教材の作成・活用により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供し、環境保全の意識醸成につながった。 ○事業継続と財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。										